

10/4

スキップ・マーティンさん 小中学校で指導

グラミー賞を受賞した米国の人気アーティスト、スキップ・マーティンさん(66)が町長を表敬訪問しました。その後、境町の小中学校3校を訪問し、トランペットや歌を披露したほか、特別講師として吹奏楽部員に指導もしました。マーティンさんは「みんなシャイだが、演奏や話をすごく熱心に聞いてくれた。今日、学んだことを覚えてほしい。」と語られました。

マーティンさんは1980年代から「ダズ・バンド」、「クール&ザ・ギャング」のボーカル、トランペット奏者として活躍。2016年に初来日し、東日本大震災の被災地などを支援しました。17年から「子どもたちは私たちの未来」をテーマに学校や幼稚園などの訪問を続けています。23年には、米大統領から特別功労賞が授与されました。



橋本町長(中央)を表敬訪問したスキップ・マーティンさんら

10/14

利根川の氾濫想定 住民600人広域避難

10月14日(土)利根川氾濫による町外への避難を想定した総合防災訓練を初めて実施しました。住民約600人が参加し、町中心部から約12キロ離れた指定避難所でこれまでに唯一避難実績のない県立八千代高校(同県八千代町平塚)に、検証を兼ねて広域避難を実施しました。

訓練は、利根川の氾濫の危険性が高まったとして、午前8時に「高齢者等避難」町内全域に発令し、8時45分に「避難指示」を発令しました。住民は、防災行政無線や防災アプリなどで避難情報を確認後、自家用車や用配慮者は、町が用意したマイクロバス6台で避難。平均23分で八千代高校に到着しました。

参加者からは、「災害に備え、こういった訓練は重要ですね。」などの話がありました。



総合防災訓練にてあいさつをする片田特任教授

8/23~8/27

英語教育でホームステイ ハワイに初めて中学生を派遣

姉妹都市の米ハワイ州ホノルル市にある姉妹校アリアマヌ中学校に町内の中学生を初めて派遣しました。派遣第1期生の15人は、作文や英語での面接を経て、境一中から9人、境二中から6人が選ばれました。

8月18日(金)、15人の生徒が橋本町長を表敬訪問し、英語力の向上やハワイの文化を学びたいとそれぞれ抱負を述べました。23日(水)に羽田空港を出発し、州立アリアマヌ中学校の生徒と交流。通常の授業のほかに、フラダンスやウクレレのレッスン、島巡りなども体験しました。生徒たちは、英語の学習と併せてハワイの伝統文化や歴史も学び、現地の生徒の家庭にホームステイをして交流を深めました。また、ホノルル市長や日本領事館を表敬訪問し、28日(月)に帰国しました。



参加者での集合写真

9/13

森戸小5年生が稲刈りを体験!

森戸小学校では、5年生による稲刈りの体験学習を実施しました。ほとんどの子どもは稲刈りが初めてだということで、農家の方々から鎌の使い方を教えていただき、児童たちは稲を一束ずつ掴み、慎重に刈り取っていました。

普段はできない稲刈りの体験に、児童たちは「難しいけど、作業を進めていくうちにコツをつかみ、楽しく稲刈りができました。」と話していました。



刈り取りの様子

俳句

令和五年九月 境町文化協会俳句部

兼題 「名月・赤蜻蛉」他当季雑詠

名月や一人夜更けの露天風呂

雄節

※夫婦水入らずの温泉旅行の際の作品なのか、それとも恒例の家族一丸旅行の折のひとつコマなのか、そのどちらにしても、こんな様々な好条件の揃うことなど滅多に在る物ではあるまい。第一、名湯を独り占めしての御見見とは恐れ入る。正に、「極楽、極楽」の旅だったに違いない。

みちのくの各駅停車 赤とんぼ

久子

※高齢を迎えて、悲喜交々の永年の商いを畳んで、やっと身辺の整理や心の落ち着きを得た頃、息子や娘達から餞として贈られた「陸奥への旅」。本線からローカル線へと乗り換えてからの各駅のホームには、恰も、作者夫妻をねぎらうかのように群舞する美しい赤蜻蛉の姿があった。

名月や喉通り良きひとり酒

香こ

童謡のような満月出でにけり

芙蓉

名月や 灯落として屋形船

慶子

赤蜻蛉 よいよ 緋く空を染め

きみ代

赤とんぼ 茜の空に 溶け込めり

信子

赤とんぼ 夕空高く 群れにけり

譲一

赤とんぼ 掠めてあそぶ 畦の道

幸子

戦火なき空の 碧さよ 赤蜻蛉

正子

名月や 遅き夕餉を 覗きおり

仁

名月の 冴えて 散歩の 歩を止めて

妙子

名月や 筑波の山に 鎮座まし

ひろこ

里山の 夕やけ 眩し 赤蜻蛉

きよ乃

名月や 忠治名残りの 赤城山

光夫

夕空を 自由気儘に 赤蜻蛉

春世

名月や かがひの 里の 男女川

喜一

秋空の 利根を 彩る 赤蜻蛉

すみ子

赤蜻蛉 あるく 先々 ついてきて

むりき

短歌

境短歌会 山鳩

カレンダー残りわずかな日めくりに過ぎた一年速さに驚く

川上京子

夜明け前くつきり見える 屋根の奥錦に色づき希望を招く

川村米子

離れ住む 卒寿の姉妹初メールリアルタイムの 動画貼りつけ

古谷野信子

舞い落ちる 師走の風にはらはらと 夕日を受けて 柿の葉躍る

桜井レイ

奮発し 豪華おせちに 舌鼓たまの 贅沢くらしにゆとり

五月女三枝子

さざんかの 花びら 散り敷く 狭庭辺に 小雀飛び来て 蹴散らし遊ぶ

鈴木喜興子

師走風 せわしくない 私がいる 今年 は 去りて 過去を 重ねる

松岡美智子

小春日の 狭庭 いろどる つわぶきの 黄たいとし 温き 昼かな

本島イト子

新年あけましておめでとございませう。年明け早々に能登地方で大地震が発生し大変な被害がありました。お亡くなりになられた方に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。また、その翌日には航空機事故もあり、北九州では大きな火災、新年早々暗いニュースの連続で心が痛みます。今後は穏やかな一年を送ることができるよう祈らずにはいられません。



宝くじ助成事業を活用して 坂花町の神輿を修復



今までの神輿は、昭和元年に造られ90年以上が経っていることから、老朽化が著しく、今回宝くじの助成金と地区負担金を併せて修復しました。修繕された神輿は、老人会や子ども会、夏祭りなどに活用され、地域交流の推進と地域の連携・協調の促進が期待されています。

※宝くじ助成事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されている事業です。